

取組実績については、以下のとおり

i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
戸別訪問の実施件数	1115	223	89	86	100

ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進  
資料編のとおり

iii) 改修事業者の技術力向上

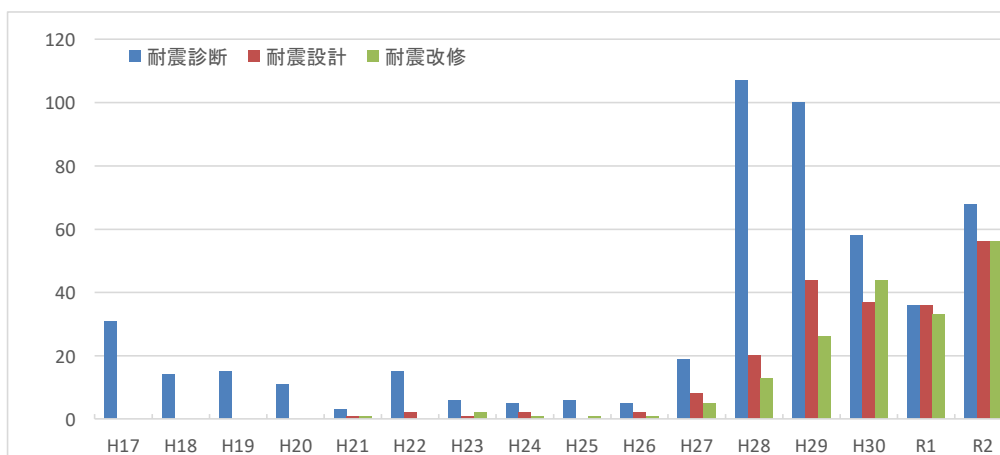
	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	2	2
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	1	2	2	2	2
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	3	3	3	0	3
耐震改修技術学校	4回× 2会場	3回× 1会場	4回× 1会場	0	4回× 1会場
耐震補強工事实務講習会	4	5	—	—	—

iv) 一般への周知普及

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
広報誌等への掲載	2	2	1	1	1
説明会の実施	2	2	2	2	2

耐震改修の実績

(棟数)	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断	100	58	36	68	
耐震設計	44	37	36	56	
耐震改修	26	44	33	56	50



## 前年度の取組内容

・高知県建築士会宿毛支部に委託し戸別訪問を実施したが、新型コロナウイルスの影響により面会が困難であり予定を大きく下回る件数となった。

## 見えてきた課題

・戸別訪問や防災講演会等での周知により、全体的に件数は伸びてきているが、地区により温度差がある。また、施工業者にも偏りが見られる。

## 今年度の取組内容

新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながらはなるが、積極的な戸別訪問の推進を行う。また、事業者への説明会を実施する。

防災

## 地震に備えよう

近い将来、高い確率で南海トラフ地震が起きるといわれています。地震に備えて今すぐ家具転倒対策を行いましょう。

### 家具類の転倒・落下・移動で起こるかもしれない被害

#### ●火災

地震が起こると、家具類の転倒・落下・移動によって火災が発生することがあります。ストーブやヒーターなど、熱を発する器具に家具類が転倒をした場合だけでなく、ストーブなどに家具類の収容物（本棚の本など）が落下することでも、火災が発生する危険があります。

#### ●避難障害

出入口付近に家具転倒対策を行っていない家具を配置してしまうと、地震により、転倒した家具が出入口を塞ぎ、逃げられなくなることがあります。安全・確実に避難するためには、出入口付近や避難経路に家具を置かないことや、家具を置く向きを工夫したりすることも非常に大切です。

### 家具転倒対策

L型金具などを使用し、家具と壁をネジ留めする方法が最も効果の高い方法ですが、壁に穴を開けられない場合は、ネジ留めが不要な対策器具を組み合わせて固定する方法もあります。

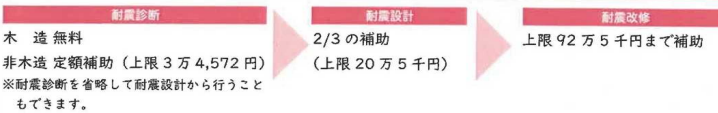
☎ 宿毛消防署 ☎63-3111(代表) ☎63-3300(火災・災害用) ☎63-3396

## 住宅の耐震化に係る支援

市民の皆さんが安心して住むことができる震災に強いまちづくりを進めるため、昭和56年以前の住宅を対象に、耐震化にかかる費用の助成を行っています。ぜひご活用ください。

保証対象 昭和56年5月31日以前に着工された住宅

### 住宅の耐震化の支援



### ブロック塀対策の支援

対象経費 避難路などに面する高い既存のコンクリートブロック塀などの撤去または安全な塀への改修費

対象経費 上限40万円または1m(1m未満は切り捨て)×2万500円/mのいずれか少ない額

☎ 危機管理課 ☎63-0951

R3年5月広報紙